

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成27年度～平成31年度(5年間)																				
事業実施地区名 (都道府県名)	(あぶくまがわ) 阿武隈川森林計画区 (福島県)	事業実施主体	関東森林管理局 福島森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>当事業は、阿武隈川森林計画区92千haの内58千haの国有林野を対象としている。</p> <p>当森林計画区内の国有林は、福島県の中央部の中通り地域に位置し、奥羽山脈と阿武隈山地に挟まれた平野部からその東西に広がる山岳地帯まで標高の変化に伴って様々な森林形態が見られる。</p> <p>北西部に位置する茂庭地区等の奥地は自然度の高い天然生林が広域に生育していることから自然環境の維持、保全が求められており、南西部の吾妻地区等都市近郊に位置する森林については、森林とふれあえる場の提供が期待されている。また、阿武隈川の各支流の上流域の森林は、中通り各都市部の生活用水を始め、工業・農業用水の水源として重要な役割を果たしている。</p> <p>人工林の生育状況は全般的に良好であるが、気象、土壌等の自然条件が厳しいため一部に生育不良な林分も見られ、このような林分についても、水源涵養機能の維持、向上のため健全な森林状態に誘導することが求められている。また、人工林の約7割が利用期に達しており、森林資源の循環利用を推進し、地球温暖化防止に貢献するため将来の二酸化炭素吸収量を継続的に確保する観点から、主伐と再生林による森林資源の若返りを図る必要がある。</p> <p>当計画区では、水源の涵養、山地災害の防止、木材等の林産物の供給等の機能の発揮を通じて、国民生活と深く結びついてきたところであるが、近年、国民の要請が高度化・多様化してきており、これらに加えて、保健・文化・教育的な利用の場の提供、良好な生活環境の保全等の機能の発揮、地球温暖化の防止や生物多様性の保全等、森林の持つ多面的機能の発揮に対する期待が高まっている。</p> <p>このような国民の期待に応え、森林の持つ多面的機能の持続的な発揮を確保していくため、本事業においては、水源涵養機能等の発揮及び生物多様性の保全を図るとともに、二酸化炭素の吸収源として地球温暖化の防止等の効果を高めるため、森林の重視すべき機能の区分に応じ、伐採跡地における植栽等の更新作業並びに、下刈及び間伐等の森林整備を実施する。また、森林整備を効率的に実施するために、林業専用道の新設や既設路線の改良を併せて実施する。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">774 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>7,054 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>26.4 k m</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.9 k m</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>2,277,414 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	774 h a			保育面積	7,054 h a		路網整備	開設延長	26.4 k m			改良延長	0.9 k m	総事業費			2,277,414 千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	774 h a																				
		保育面積	7,054 h a																				
	路網整備	開設延長	26.4 k m																				
		改良延長	0.9 k m																				
総事業費			2,277,414 千円																				
費用対効果分析	総便益(B)	10,822,711 千円																					
	総費用(C)	2,965,007 千円																					
	分析結果(B/C)	3.65																					
関東森林管理局事業評価技術検討会の意見	森林の持つ公益的機能を発揮するために、必要な森林整備、路網整備であり、必要性、効率性、有効性が認められる。																						

<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性 <p>水源の涵養<sup>かん</sup>や山地災害の防止、地球温暖化防止及び保健休養等の公益的機能の発揮や林産物の供給が求められている地域であり、本事業の実施により多面的機能の発揮が図られるとともに林産物の有効活用による地域振興にも寄与することから事業の必要性が認められる。</p> </li> <li>・ 効率性 <p>費用対効果分析の結果から事業の効率性が認められる。</p> </li> <li>・ 有効性 <p>事業計画は、地域の特性を踏まえ、必要な更新、保育等の森林整備となっており、多面的機能を発揮する健全な森林の育成に資するものとなっている。また、路網整備についても森林整備と連携したものとなっており、事業の有効性が認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的<sup>かん</sup>に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養<sup>かん</sup>）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されているものと認められる。</p> </li> </ul>
-------------	--

様式 1

便 益 集 計 表  
(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業  
施行箇所：阿武隈川森林計画区

都道府県名：福島  
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	2,080,624	
	流域貯水便益	652,717	
	水質浄化便益	2,435,642	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,562,088	
環境保全便益	炭素固定便益	898,406	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	224,921	
	木材利用増進便益	19,701	
	木材生産確保・増進便益	724,584	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	8,207	
	森林整備促進便益	215,821	
総 便 益 (B)		10,822,711	
総 費 用 (C)		2,965,007	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{10,822,711}{2,965,007} = 3.65$		



# 森林環境保全整備事業 阿武隈川森林計画図(福島森林管理署管内) 事業概要図



路網整備事業



俎板山外1国有林



茂庭国有林

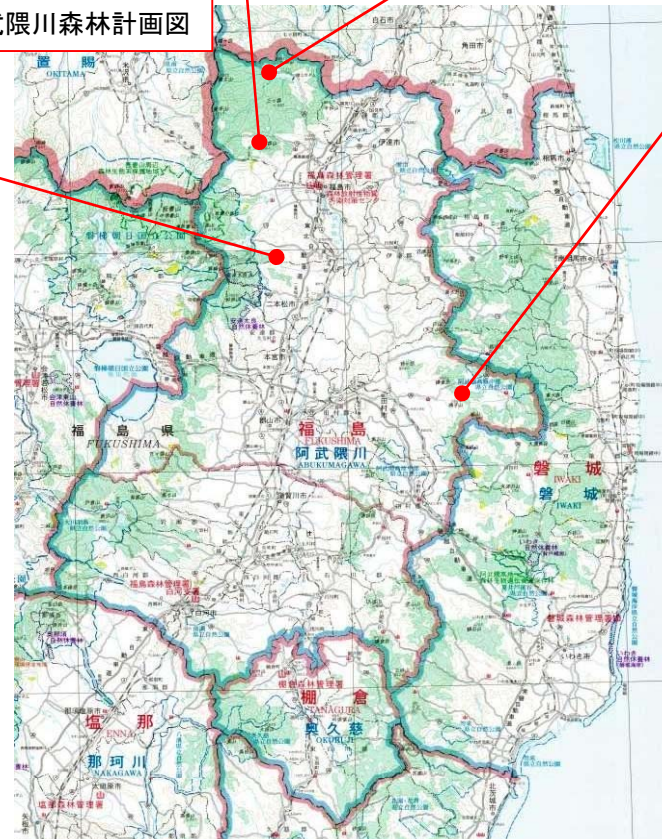


森林整備事業(地拵・植付)



南澤国有林

阿武隈川森林計画図



南向外1国有林

休場国有林



森林整備事業(地拵・植付)



路網整備事業



森林整備事業(保育間伐)